

ヌーリ川公園整備事業について

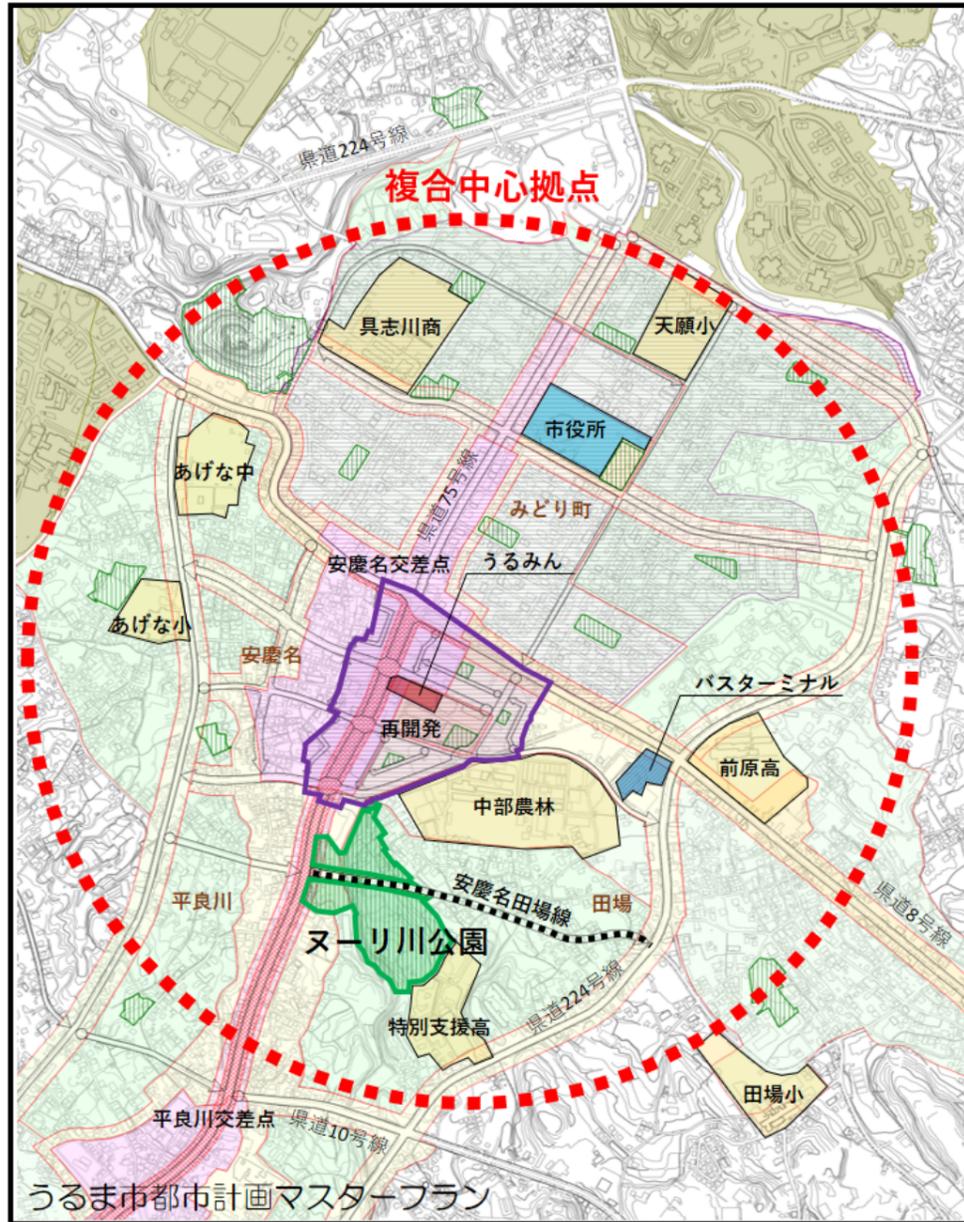
1 はじめに

- ❖ **ヌーリ川公園とは**
ヌーリ川公園は、うるま市の複合中心拠点（安慶名・みどり町・田場・平良川）内にある新設の公園（面積約6.2ha）です。

【複合中心拠点とは？】

商業施設や業務施設、公共施設等の施設が複合的に集積し、多様な都市的活動や交流が行われる活力と賑わいの中心拠点を意味します。

位置図



❖ 事業の経緯

昭和43年より、以下の経緯でヌーリ川公園整備事業を進めてまいりました。

- 昭和43年度 | 都市計画決定（琉球政府時代）⇒公園として位置づけ
- 平成05年度 | 基本計画
- 平成22年度 | 基本設計
- 平成23年度 | 事業化
- 平成28年度 | 都市計画変更 ⇒公園の区域変更、安慶名田場線の決定
- 平成29年度 | 都市公園法の改正 ⇒民間による収益施設の設置等が緩和
- 平成30年度 | PFI導入可能性調査 ⇒民間事業者の参入意欲等の確認

【PFI導入可能性調査とは？】

平成29年度の都市公園法の改正により、公園区域内での民間事業者による収益施設の設置（カフェやレストラン等）が緩和されました。公園整備に民間の資金・ノウハウ・アイデアを取り入れることで、財政負担の縮減・公園の質の向上・利用者の利便性の向上が期待されます。ヌーリ川公園においても、民間活力の導入に向けた検討を行うため、H30にPFI導入可能性調査を実施しました。

2 うるま市の課題を踏まえた公園整備の方向性

平成30年度に実施したPFI導入可能性調査や、民間事業者へのヒアリングをもとに、再度、うるま市における課題や位置づけ等を以下のとおり整理しました。

A 魅力ある公園整備が求められている

- ・既存の自然を活かし、身近な自然と触れあえる公園づくり
- ・多様な世代・属性（地元、子ども、学生、高齢者等）が集い、親しみを持てる公園づくり
- ・周辺の公園にはない特色のある公園づくり
- ・地域（高校、企業等）と連携・協働し、賑わいや学びの場を提供する公園づくり
- ・災害時に対応できる防災機能を有した公園づくり

B 中心市街地の活性化に寄与する公園整備が求められている

- ・商業振興・消費拡大及び商業活性に寄与できる公園づくり
- ・周囲の公共施設（運動、観光等）・民間施設と連携し、賑わいや回遊性の創出に寄与する公園づくり
- ・公園を介して市民生活の質（QOL）向上につながる公園づくり

C 公園整備にあたり、行政負担の軽減が求められている

- ・民間の資金・ノウハウによる整備費用の縮減と公園の質向上の両立を図る事業スキーム
- ・事業収益による維持管理費用の軽減を図る事業スキーム

ヌーリ川公園整備事業について

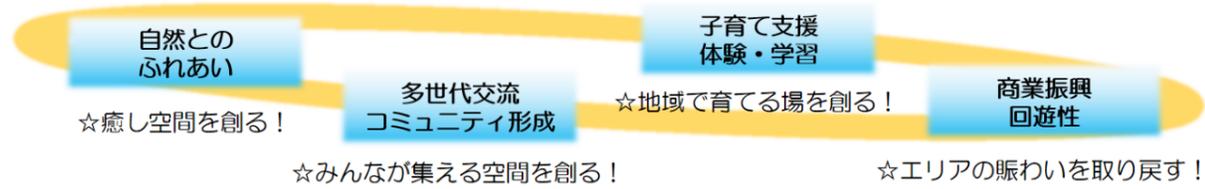
3 公園の整備コンセプト・整備目標・要求機能について

基本計画（平成5年度）のコンセプト「地域のシンボルとしての公園づくり」を踏まえ、社会情勢、地理的特性等を再確認し、以下のとおりコンセプト及び整備目標、要求機能を設定しました。

コンセプト 『まちなかの賑わいと癒しから始まるパークライフ』

整備目標 複合中心拠点の賑わいと回遊性の創出に貢献する公園施設整備

・要求機能（めざすべき姿）



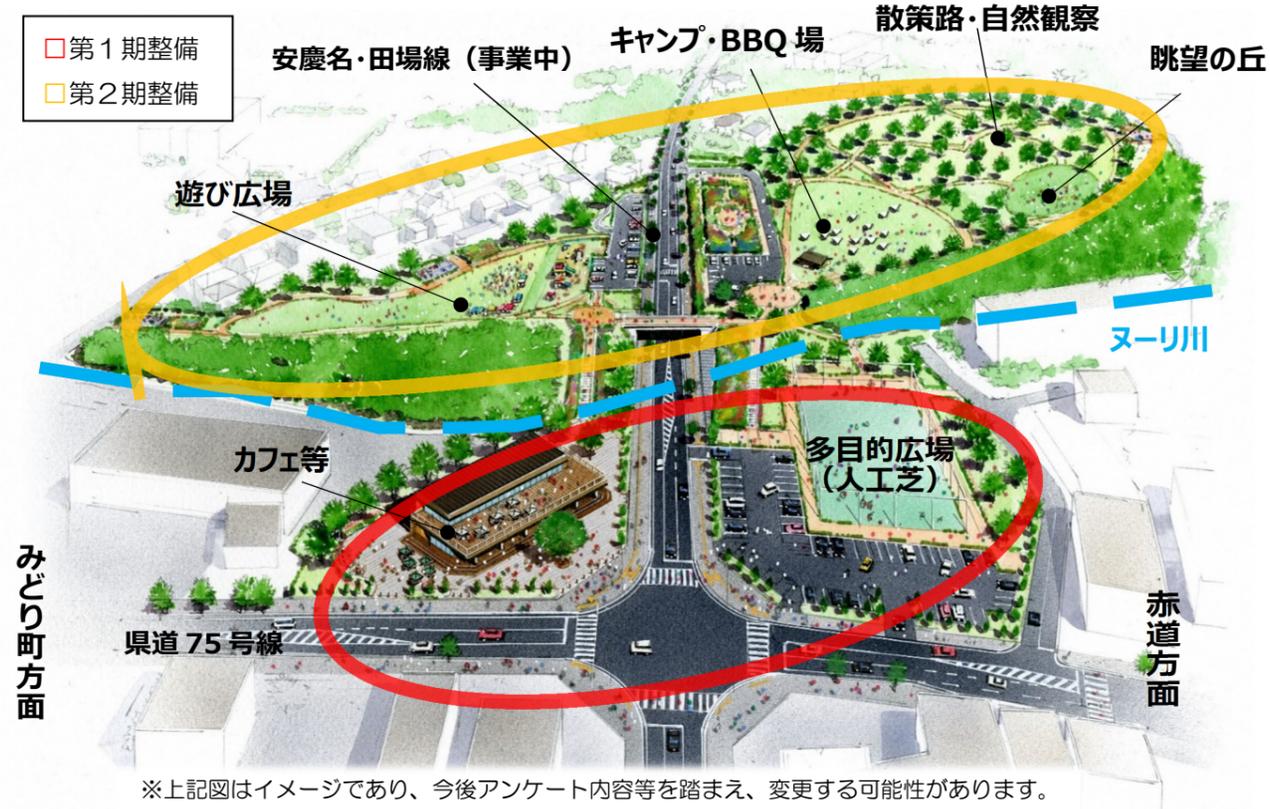
社会が成熟化し、市民の価値観も多様化する中、公園が持つ多機能性を都市のため、地域のため、市民のために発揮させる。

エリア内にあるヌーリ川公園に、「地域課題に対応する拠点・機能」を創ること。

市民に愛される「シンボル（公園）」を創る！

4 目指すべき姿の具現化

・コンセプト、整備目標、要求機能等を踏まえ、民間事業者との対話をもとに作成しました。



※上記図はイメージであり、今後アンケート内容等を踏まえ、変更する可能性があります。

5 事業スケジュールについて

用地取得目標年度や予算状況を踏まえて事業スケジュールを下記のとおり想定しております。ただし、事業者が提案する内容（造成工事の内容等）や適用する事業スキームにより変動する可能性があります。

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
用地先行取得（第1期）					
		造成工事等			
官民連携による整備構想の策定	公募	用途地域の見直し	設計（民間）	施工（民間）	
説明会・アンケート・ワールドカフェ等 民間事業者との対話 公募準備					部分供用（第1期）
公園条例改正	用途地域の見直し				

6 民間活力導入による公園整備事例

①安満遺跡公園（大阪府高槻市）

安満遺跡公園は、京都大学大学院農学研究科附属農場の移転に伴い、その跡地を含めた一帯を「安満遺跡公園」として整備された公園です。弥生時代の安満遺跡を保存・継承するとともに、防災機能を備えた、緑豊かな公園を目指して様々な取り組みが行われています。

■基本情報

立地：大阪府高槻市
公園面積：22ha
開園年：2019年（一部オープン）

■民間活力の導入（主な収益施設）

①全天候型「子どもの遊び施設」



- 同公園のパークセンター内設置されている「子どもの遊び施設」は、株式会社ポーネランドにより運営されています。同社は「あそぶことは生きること」をコンセプトに全国の親子あそび場を、公園を始めとする様々な施設で展開している会社です。
- 施設は屋内外一体型となっており、自然素材を使って遊べる屋外ゾーンと、お絵かきやブロック、週替わりのワークショップを体験できる室内ゾーンが整備されています。

②民活カフェ



- 同公園の民活カフェでは、株式会社バルニバービが自己資金によりカフェの建設・運営をしています。同社は全国で82店舗を経営しており、いずれも地域の特色を活かした賑わいのあるお店として人気が高まっています。
- ランチからカフェ、ディナーまで楽しめるオールディユースの形態となっており、地元の食材を使ったメニューの提供を行っています。

出典：安満遺跡公園 HP

②勝山公園（福岡県北九州市）

2018年に全国で初めて公園便益施設として「コメダ珈琲店 北九州勝山公園店」が勝山公園内にオープンしました。

■基本情報

立地：福岡県北九州市小倉
公園面積：21.1ha
開園年：2018年

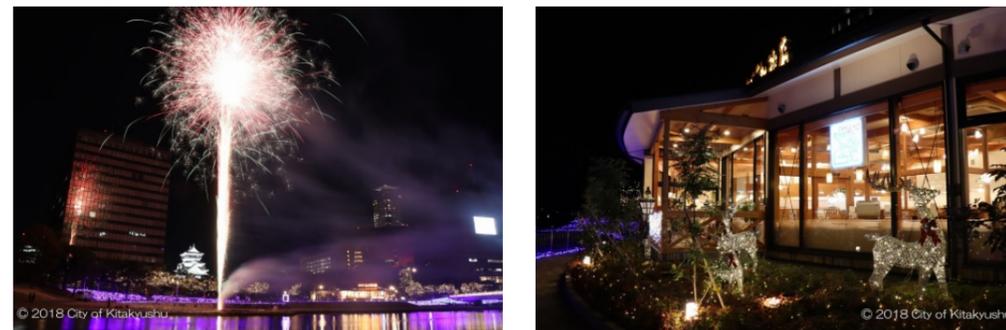
■民間活力の導入（主な収益施設）

①珈琲所コメダ珈琲店の出店



- 店舗デザインは、小倉城や紫川などの周辺の景観と調和がとれるように、河川のラインに合わせた扇形の低重心構造となっており、店内から紫川を眺めることができるようガラス面を広く設け、テラス席では風を感じながらティータイムを楽しむことができます。
- 公園便益施設でもあることから、公園広場で行われるイベントやお祭りなどでもパブリックスペースとしての機能を十分果たせるように、店舗周辺に多目的休憩スペースやベンチシートが設けられています。

②公園広場・河川空間と連携した運営



- 事業者は、紫川周辺のイルミネーションに合わせ、店舗及びその周辺にイルミネーションを施し、街の賑わいを創出しています。
- 平成30年11月2日のイルミネーション点灯式では事業者が、『関門海峡花火大会実行委員会門司』と協力し、音楽花火の打ち上げを行うなど点灯式に華を添えました。

出典：北九州市 HP